

2013年5月14日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

美濃市と「まちづくり」「地域福祉」「地域医療」分野 を中心に連携協定

中部学院大学（古田 善伯 学長）ならびに中部学院大学短期大学部（片桐 多恵子 学長）は、美濃市（石川 道政 市長）と連携協定を結ぶことになりました。

美濃市と本学はこれまで、同市から最も近い大学として、保育者、介護福祉士、社会福祉士、教員など多くの専門職に携わる人材を地域に輩出してきました。また本学が開講している生涯学習講座に多くの美濃市民の皆さんが参加するなど教育の拠点となってきました。

今回の締結では、**▼オンリーワンのまちづくりの推進▼安全で安心、健康な暮らしと地域福祉の推進▼人間力・文化力を高める教育・文化及びスポーツの振興▼魅力ある強い経済の振興▼新しい公共と交流の推進**などを中心に、お互いに支援・協力することで合意しました。具体的な活動としては、**和紙を使ったまちづくりや観光イベントの協力、地域活性化を市民と学生と一緒に考えるワークショップの開催、高齢者福祉施策の推進や子育て支援などの協力や提言、学生の実習受け入れ**などを行っていく予定です。（詳細は裏面参照）

記

【連携協定締結式】

- 日時 2013（平成25）年5月16日（木） 午前11時～
- 場所 美濃市防災・中央コミュニティーセンター 2階大会議室
（美濃市1350 TEL：0575-33-1122）
- 日程
 - ・開会
 - ・協定内容の説明
 - ・協定書署名
 - ・中部学院大学学長あいさつ
 - ・中部学院大学短期大学部学長あいさつ
 - ・美濃市長あいさつ
 - ・閉会
 - ・写真撮影
- 出席者 美濃市 石川 道政 市長
中部学院大学 古田 善伯 学長
中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長 ほか

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学総合研究センター（担当：小林）TEL:0575-24-2238

美濃市との連携協定締結について

■ 趣 旨

美濃市は大学（関市）と隣接する市であり、本学が1967（昭和42）年に関市に拠点として短期大学を開学して以来、40年以上にわたり、深い関わりを築いてきました。特に美濃市から最も近い大学として、地元青年の高等教育の場となり、保育士、幼稚園・小学校教諭、介護福祉士、社会福祉士など、福祉・幼児教育の養成校として、多くの専門職に携わる人材を地域に輩出してきました。また、本学が開設している生涯学習講座には美濃市から多数の市民が参加するなど、教育の拠点にもなっています。そのほか、美濃市が掲げる和紙と伝統を生かしたまちづくりや観光開発などに、本学教員が審議会員として参画してきました。近年では同市内を走る長良川鉄道で、短期大学部幼児教育学科の学生らが企画する「あそびスターTRAIN」列車が駆け抜け、地域活性化に寄与してきました。

■ 調印までの経緯

これまでの関係をより一層密にし、双方が持っている資源を活用しながら、ともに有益となるよう包括的協定を結ぶことになりました。本学においては、福祉・医療・教育・経営など暮らしに関わる知的財産の提供を通して、美濃市の発展に寄与すると共に、本学の教育の中にも美濃市が持っている伝統、産業、自然などを取り込み、人材の育成を図っていきたいと考えています。また、今年度から文部科学省が実施する「地（知）の拠点整備事業」が開始されるのにあたり、本学としてもこの機会に協力関係を一層推進したいと考えています。

- 2013.3.14 市総合政策課長との協議（美濃市役所）
本学の連携推進センター長、研究支援部長が総合政策課長を訪問
連携について協議
- 2013.4.16 美濃市・関市・郡上市との連携打ち合わせ会（本学）
本学の地域での役割、各自自治体が抱えている「福祉」「教育」「地域づくり」
「行政課題」、連携事業の方向性について協議
- 2013.4.25 石川市長と片桐短期大学部学長の協議（美濃市役所）
市の重点施策を聴取し、大学との連携について協議
- 2013.5.8 市総合政策課長との協議（美濃市役所）
8日以降も事務レベルでの打ち合わせを重ねる
- 2013.5.16 協定調印式（美濃市防災・中央コミュニティーセンター）

■ 具体的な活動（予定）

（1）まちづくり施策への協力

- ①和紙を使った子どもと高齢者向けクラフトの開発と普及
- ②和紙を使ったまちづくり、観光イベントへの協力
- ③地域活性化を市民と学生と一緒に考えるワークショップの開催
- ④長良川鉄道「あそびスターTRAIN」への協力
- ⑤市内で開催されるイベントを通して学生と市民の交流促進

（2）福祉・医療・幼児教育施策への協力

- ①高齢者福祉施策の推進についての協力・提言
- ②要介護高齢者を抱えている家族支援への協力・提言
- ③保育や幼児教育、子育て支援についての協力・提言

（3）大学教育への協力

- ①学生の実習受け入れ、就職についての支援
- ②教育・研究活動におけるフィールドや場所、人材の提供、支援
- ③大学が行う広報活動への協力

（4）その他

今後、美濃市各部局、大学が、お互いの資源をどのように活用して実現できるかについて検討しながら具体化する予定。

■ 参考データ

[美濃市] 人口 22,473 人 世帯数 8,110 世帯（2013 年 3 月 31 日現在）

[中部学院大学・同短期大学部] 学生数 2,552 人（同年 5 月 1 日現在、通信教育部含む）

大学院、大学 4 学部 5 学科、短期大学部 2 学科 1 専攻、通信教育部、留学生別科

大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程

大 学＝人間福祉学部人間福祉学科、同健康福祉学科、同通信教育部、
子ども学部子ども学科、リハビリテーション学部理学療法学科、
経営学部経営学科

短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科（福祉専攻）